

## 県立茨城東高校 学校長：水田 重則

【実施日時】	平成20年12月1日(月) 11:30~12:15
【参加者と人数】	第2学年, 36名
【講師】	小野瀬 武康(日本)
【活動内容】	パワーポイントを使い, 財団法人オイスカについての講話・質疑応答など。
【参加者の感想】	<p>1秒に2.4人, 1日に20万人の人口が増えている。ほとんどが発展途上国での人口増加。12億人が1日1ドル以下の生活。8億人が飢餓状態。毎日2,400人が餓死。働く子供が3億。読み書きの出来ない子は8億。フィリピンにはマンホールチルドレンやストリートチルドレンがいて, フィリピンだけでなく世界には1億~2億人ぐらい, そんな子供たちが苦しんでいる。必死に毎日を生きている。発展途上国。巨大都市の出現。都市の環境悪化。水不足。ホームレス。犯罪。「富める者はますます豊に, 貧しい者はさらに貧しく」そういった現状から救うために, NGO 団体の方々は様々な活動をされていることを知った。オイスカでは, フィリピンのネグロス島に毎年1棟ずつ保育所を建て, 働く場所も提供している。また, 日本でいらなくなった楽器を集めてフィリピンの学校へ送っている。物資を支援するだけではなく, 豊かな山が海を育てるということで, マングローブの植林活動も行っている。私には何ができるのかなと思いました。</p> <p>世界が協力して物質的に貧しい国を何とかしなければならぬと思いました。</p>
【担当者の感想】	<p>「知ってしまった以上知らないふりはできない」という先生の言葉は, 生徒一人一人に響いたと思います。NGOの方々がどんな活動をされているのかを知る良い機会となりました。</p>

